

# 新型コロナウイルス感染症

～今後の発生時に備えた体制強化に向けて～



## 当日のスケジュール

- 13:00** 開会挨拶 松谷有希雄（一般財団法人 日本公衆衛生協会 理事長）
- 13:03** 来賓挨拶 吉田 学（厚生労働省 事務次官）
- 13:10** 1. 基調講演（オンライン）  
「COVID-19 に対する西太平洋地域の戦いと今後の展望（仮題）」  
演者：WHO 西太平洋地域事務局
- 13:40** 2. 特別講演  
「COVID-19 これまでを振り返って（仮題）」  
演者：岡部 信彦（川崎市健康安全研究所 所長）
- 14:10** 3. パネリスト講演
- 14:10** ①「将来を見据えた感染症対策の強化に向けた取り組み方針（仮題）」  
演者：佐原 康之（厚生労働省 健康局長）
- 14:25** ②「東京オリンピックパラリンピックにおける  
新型コロナウイルス感染症対策からの教訓（仮題）」  
演者：齋藤 智也（国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター センター長）
- 14:40** ③「墨田区における新型コロナウイルス感染症対策への取り組み（仮題）」  
演者：西塚 至（墨田区保健所 所長）
- 14:55** ④「神戸市におけるパンデミック時の保健師活動（仮題）」  
演者：山崎 初美（神戸市健康局 担当局長）
- 15:10** ⑤「地方衛生研究所の果たした役割（仮題）」  
演者：吉村 和久（地方衛生研究所全国協議会 会長）
- 15:25** 休憩
- 15:40** 4. パネルディスカッション  
座長：宮崎 雅則（前国立保健医療科学院 院長）  
助言者：鶴田 憲一（全国衛生部長会 名誉会長）  
内田 勝彦（全国保健所長会 会長）
- 16:40** 5. 座長・助言者まとめ
- 17:00** 閉会挨拶 松谷有希雄（一般財団法人 日本公衆衛生協会 理事長）

新型コロナウイルス感染の状況等により、本シンポジウムはオンライン開催になる可能性があることをご承知おきください。

## 開催日時

2021年12月14日火  
13:00-17:00

## 場所

全社協・灘尾ホール **ハイブリッド開催**

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル LB 階  
TEL. 03-3580-0988

## 参加費 無料

## 申込方法

当協会ホームページより出席者登録票をダウンロードの上、メールにてお申込み下さい。 <http://www.jpoha.or.jp>



## 開催趣旨

我が国で新型コロナウイルス感染症の国内発生が2020年1月16日に確認されて以来、早2年を経過しようとしています。

この間、コロナウイルスは武漢で発生した従来型から変異を繰り返し、英国で確認されたアルファ株、インドで確認されたデルタ株と、より強い感染力を獲得した変異ウイルスが台頭し、第5波では、急激な感染者の増加をもたらし、多くの方々が自宅療養を余儀なくされ、十分な医療を受けることなく亡くられる方も出るという、大正時代のスペイン風邪を彷彿とさせるような事態にも見舞われました。

国民皆保険制度が定着し、世界に誇れる医療や保険の体制が整えられ、だれもがいつでも医療を受けられるという日本において、このような事態が招かれたことは、公衆衛生に従事している多くの方々にとって、非常に残念な思いであると存じます。

本シンポジウムは昨年に続き公衆衛生に従事しているの方々にご参集いただき、開催することといたしました。これまでの公衆衛生活動の振り返り認識を一にするとともに、参考とすべき取組事例などを関係者で共有し、決して第5波のような事態を繰返さないよう備えることを主眼としています。

当協会では、感染者の増加に伴って自治体の職員だけでは、対応することが困難な場合に、外部の専門職の方々から支援が受けられるよう、潜在保健師や大学、医療機関の医師などに登録いただいている「IHEAT（人材バンク）システム」の運用を本年6月から開始しており、すでに第5波で一部の自治体で活用いただいております。

この人材バンクには、現在2,304名の方々が支援を希望し登録されております。各自治体の方々には、是非、次の波に備えて、登録していただいている方々との情報共有等を行い、何時でも支援が受けられるよう準備をお願いしたいと思います。

今回の新型コロナウイルスは、人類の弱い側面を巧みに突き、また、短期間で変異し、再感染・再拡大を繰返すという公衆衛生上の重大な危機をもたらした感染症です。決して油断することなく、一刻も早く収束させ、国民が普通の生活に戻れるよう、関係者の方々が一一致団結し取り組まれることを願い、本シンポジウムを開催する次第です。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

令和3年秋 一般財団法人 日本公衆衛生協会

理事長 松谷 有希雄

## 日本公衆衛生協会概要

当協会は、明治16年に設立された大日本私立衛生会を前身として、長年、公衆衛生の向上に関する事業を行い、公衆衛生関係団体の活動を支援する組織として、日本の公衆衛生の発展に寄与して参りました。

かつて、大日本私立衛生会時代の明治7年から9年にかけて、スペイン風邪が世界的に大流行し、多数の国民が犠牲になっております。当時の記録によりますと、同会は「流行性感冒に対する家庭の心得」の啓発、感染予防に関する正しい知識の普及、政府に対する建議を行うなど様々な活動を展開しております。

現在、本会は、一般財団法人日本公衆衛生協会として、一般社団法人日本公衆衛生学会並びに全国衛生部長会や全国

保健所長会を初めとする公衆衛生関係団体の事務局を担っております。また、広島県、長崎県から委託を受けて在外被爆者に対する医療費等の助成事業を行うとともに、広く一般国民の皆様のための保健指導書、地域保健関係職種専門書及び機関誌「公衆衛生情報」の発行などを通して、国民の公衆衛生の向上に資する活動を行っております。

特に最近では、東日本大震災を契機に大規模災害発生時に迅速に現地の保健医療行政の指揮調整機能等を応援するため、厚生労働省と協同して災害時健康危機管理支援チーム（Disaster Health Emergency Assistance Team < DHEAT >）の養成も行っているところです。

開催日時

2021年12月14日(火) 13:00-17:00

場所

全社協・灘尾ホール

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル LB階  
TEL. 03-3580-0988

ハイブリッド開催



新型コロナウイルス感染防止対策として、会場の座席にゆとりをもたせ、120名様程度に限定とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。



ご来場いただけないお客様のために、日本公衆衛生協会ホームページ (<http://www.jpha.or.jp>) にて1月下旬から2週間、シンポジウムの動画を公開する予定です。